

下安場先生ならびに、前田先生、吉兼先生、吉見先生、大変ありがとうございました。

今年は、比較的穏やかな日が続いているとはいうものの、1年で最も寒さの厳しいこの時期に、全国各地から、さらに、海外からもエコツーリズム全国大会、びわこ高島大会にご参加いただき、大変ありがとうございます。

高島市は、びわ湖の北西に位置し、3方を山に囲まれ、東はびわ湖に面しています。

周りの地域から見ると、すっぽりと山に取り囲まれ、中を見ることができない、「まるで要塞のようなところ。」と言えるのかもしれませんが。

そんな中で、山では、森の木や生き物達と共に生き、森にいかされた生活が営まれ、湖に面した地域では、山の豊かさにささえられ育まれた湖の恵みを享受した素晴らしい淡水文化を築き上げてきました。そして、山から流れ出た水は土砂を堆積し、肥沃な沖積平野を作り出し、周辺の山々とともに、人と自然が共存し、活かし活かされるなかで育まれてきた里山文化を築いてきました。マタギの暮らし。焼き畑をし、轆轤を回しながら築いた木地師の暮らし。ほとらを刈り田畑を耕し、時には、天まで伸びる棚田を築き、寒の水を使って漬け物を作り、とちもちを作る。また、降った雨は地面にしみこみ伏流し、里では豊富な湧水となり、独特のかばた文化を生み出してきました。そして、山が育てた、養分をたっぷりと含んだ肥沃で、清らかで、冷たい川の水は、豊かな魚場を作り出しました。そこでとれる、多様で豊かな湖の幸は、フナ寿司をはじめとした、発酵文化を生み出しました。伝統に培われた確かな技は、扇骨作りにも発揮されています。

山に活かされ、水に寄り添う生活文化、それらすべてが、地域の宝であり、生き甲斐の源でもあります。

ただ、日本中がすさまじい経済成長の流れに巻き込まれる中、どこことなく、先をこされたような、とりのこされたような、そんな思いを抱いたこともありました。山より里、上流より下流、田舎より都会。そんな思いを抱きながら、地域にないものを探しながら、外の世界をみていたこともあったのではないのでしょうか。

さて、今回、エコツーリズムの全国大会を開催させていただくにあたり、この大会が、高島のこれから向かうべき方向を、しっかりと示してくれるだろうと、期待も膨らみました。

そして、今、確かな手応えとともに、心の中に心地よい、満足感と充足感がふつつつと湧きだしています。

この3日間の大会は、私たちにとって、これからの新しい時代をいきるための、大きな1歩の始まりを感じています。世の中は今、ライフスタイルも、いきがいも、そして、人と人との関わりも、山から里、田舎から都会へと心をときめかせた時代とは、すこしずつ変化の中に向かい始めているように思います。

私たちが、この地で誇りを持って生きていけることは、何物にも代え難い宝物です。宝探しから始まるエコツーリズム。こんな、言葉を耳にしたとき、私たちは、ないものへのあこがれを持った、そんな思いと決別し、地域のよさを見直し、地域の自然や伝統、生活文化、お年寄りの知恵や技、風土にあったらしぶり、それらすべてを大切に思う気持ちがうまれてきました。

今回、シンポジウムをはじめとして、6つのツアーをご提案させていただきました。6つというのは、合併前の6町村を主体としての取り組みです。ただ、決して、旧の町村にこだわったというのではなく、高島の魅力を6つにしばった結果です。「何もない」が口癖のようになっていた中で、地域に住む者が、地域の魅力に気付くには少し時間もかかりました。高島に来て頂いた多くの人たちに、教えられ、励まされながら、地域の魅力に気付き、今、ようやく自らの言葉で自信を持って発信できるようになりました。

今回、食を中心のテーマとして大会を開催すると決めた時も、食を生み出した気候風土、そして、人と伝統に裏打ちされた技。私たちのまわりを広く見回してみると、地域の魅力が、こんなにたくさん、そして、身近にあることにも気付くことができました。

次に、エコツーリズムによって地域が変わる。このことは、今、市内各地で繰り広げられている活動がはっきりと示していると思います。そして、他の産業とは少し異なる効果や手応えがあるのも事実です。ただ、まだまだ、高島地域全体への波及ができていないと思います。今後、さらに、交流の輪を広げ活動を活発にしていきたいと思います。

地域における産業としての足がかりにも、すこしずつ、希望と展望も見えてきたように思います。分科会でも、地域の活性化について、大変貴重なご意見やご提言をいただきました。内の力だけではなかなか産業としては成り立ちませんし、力強さに欠けます。どうしても、外の力を得ることが必要です。自立的で、持続可能な産業としてのエコツーリズムの展開に関しては、まず、身の丈に合った取り組みと、喜びも苦しみ

も、共に分かち合う、そんな気持ちを大切にしながら、がんばっていき
たいと思います。

最後に、ご参加いただきました皆さんに、お願いがあります。お帰りい
ただきましたら、是非、高島の事を話題として、周りの方々にお話をして
いただけないでしょうか。感じて頂いたまま、ありのままで結構です。森
と里と湖のある素朴な風景。そして、高島の水と土と空気が作りあげた、
地域の味をお話下さい。地域の方とかわした言葉をお伝え下さい。

なお、大会の運営にあたり、ご不便、ご迷惑等おかけしたことも多々あ
ると思います。お詫び申し上げます。

私たちは、これからも、この地域を誇りとして、エコツーリズムの目指
す心の豊かさと、活気のある地域作りに取り組んでいく所存です。

どうか、今後とも、ご支援賜りますよう、どうか宜しくお願いいたしま
す。

地域に住む私たちの決意とともに、ご参加、ご協力頂きました全ての皆
様に感謝し、お礼とさせていただきます。

どうもありがとうございました。